

第五次長崎県子ども読書活動推進計画(案)に対する パブリックコメントの募集結果について

「第五次長崎県子ども読書活動推進計画(案)」について、パブリックコメントを実施しましたところ、貴重なご意見をいただき厚くお礼申し上げます。

いただいたご意見に対する考え方をまとめましたので公表します。

1.実施期間 令和5年12月4日(月)～12月25日(月)

2.募集方法 電子申請、郵送、ファクシミリ

3.閲覧方法 県ホームページに掲載

長崎県教育庁生涯学習課

県政情報コーナー(県庁県民センター内)

各振興局行政資料コーナー(長崎振興局を除く)

長崎県教育センター総務課

長崎県立長崎図書館総務課

4.意見の件数 7件(6名)

5.意見の反映状況

区分	対応内容	件数
A	ご意見を踏まえ案に修正を加え反映させるもの	0
B	案に既に盛り込まれているもの 案の考え方や姿勢に合致し、今後、遂行の中で反映させていくもの	5
C	今後検討していくもの	0
D	反映が困難なもの	2
E	その他	0
合計		7

6. 提出された意見の要旨及び県の考え方

番号	項目	意見の要旨	対応	意見に対する考え方
1	計画全体	親も学校も忙しい現代、少しでも子どもに読書の機会があるといいなと望む。	B	忙しい中であっても読書ができるように、「読みたい本がいつも子どものそばにある」というテーマを掲げ、本計画を推進してまいります。
2	第4章	学校支援センターの設置を計画的に進めてほしい。	B	国の「学校図書館図書整備等5か年計画」に基づき、学校および学校図書館への支援が充実されるよう、市町教育委員会に学校図書館支援センターの設置をはじめ支援体制の充実について働きかけてまいります。
3	第4章	学校等におけるスローガン「引き出そう！読みたい知りたい伝えたい」を短くしてはどうか。	D	言葉の一つ一つが、本計画における学校の読書活動推進の方向性を具体的に示したものであることから、変更せずに本計画で用いてまいります。
4	第4章	数値目標「図書ボランティア数」は、人口減少していることを踏まえた目標数にすべきではないか。	D	学校や図書館をはじめ、病院や子ども支援センターなどの福祉・医療の場で読書活動の推進に努めておられる方、大学生など、子どもの読書活動に携わってくださるボランティアの輪を広げていきたいと考え、この目標値としてまいります。
5	計画全体	県は本計画を基に、コーディネーターの役割を存分に発揮してほしい。	B	本県で育つ子どもたちのそばにいつでも読みたいと思える本がある環境づくりに、家庭、地域、学校等の社会全体で取り組んでいけるよう、推進の方向性を周知し、具体的な取組の推進に努めてまいります。
6	計画全体	子ども読書活動推進のための方策が具体的に示されている。	B	
7	第4章	通常学級等における児童生徒へのDAISY図書・DAISY教科書の活用を進めてほしい。	B	多様な子どもの読書を支える環境の整備・充実のため、アクセシブルな書籍等の図書館サービスなどの充実を図ってまいります。